

令和 8 年度 国立赤城青少年交流の家教育事業
「ボランティア養成セミナー」報告書（案）

1. 趣旨

国立赤城青少年交流の家の自然環境を活かした様々な体験活動や学習を通して、青少年教育施設における青少年の体験活動を支えるボランティアとしての必要な知識・技術について研修する。

2. 事業の概要

(1) 期日

令和 8 年 5 月 3 0 日（土）～ 5 月 3 1 日（日）【1 泊 2 日】

(2) 参加者

①参加対象 高校生以上

②参加人数 29 人

③参加者の内訳 高校生 20 人 大学生 8 人 社会人 1 名

3. 企画運営のポイント

(1) 青少年教育施設のボランティアとして活動する上での知識、技術を学べるプログラムを実施する。

(2) 先輩ボランティアの実際の取り組みを示し、参加者が求められる姿を具体的にイメージできるようにする。

4. 日程

	午 前	午 後	夜
5 月 3 0 日 (土)	開講式 講義・演習「ボランティア活動の技術」 講師：当所職員 中谷 仁 法人ボランティア 町田 茉莉 佐伯 真生 講義「青少年教育」 講師：大東文化大学 スポーツ・健康科学部 教授 中村 正雄 氏	講義 「ボランティア活動の意義」 講師：大東文化大学 スポーツ・健康科学部 教授 中村 正雄 氏 講義・演習 「ボランティア活動の技術」 講師：当所職員 山田 堯輝	説明「青少年教育施設におけるボランティア活動」 講師：法人ボランティア 町田 茉莉 佐伯 真生
5 月 3 1 日 (日)	講義・演習「安全管理」 講師：前橋市消防局北消防 署 白川分署 署員 講義「青少年教育施設の現状と運営」 講師：当所職員 次長 森原 強史	説明「法人ボランティア制度について」 講師：当所職員 山田 堯輝 閉講式	

5. 主な活動内容



講義・演習「ボランティア活動の技術」



講義「ボランティア活動の意義」



講義・演習「ボランティア活動の技術」

アイスブレイク

野外炊事 カレー作り



「青少年教育施設のボランティア活動」



講義・演習「安全管理」



講義「青少年教育施設の現状と運営」

先輩職員の体験談

救命救急講習

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足 24 人 やや満足 5 人

(2) 参加者の声

- ボランティア活動の意義について深く学ぶきっかけになった、技術面についても新たな発見や学びにつながった。
- 幅広い世代の人と交流できる機会になり、多くの視点でボランティア活動を考えることができた。
- ボランティアについての心構え、必要なことが知れてよかった。
- ボランティアが与える影響について知ることができた。また、人と協力して何かをやり遂げるといった経験をすることができ充実した 2 日間でした。

(3) 成果

- 年齢の近い先輩ボランティアと関われる時間を多く作ることで、青少年教育のボランティアに必要な姿勢を考える機会を前年度よりも多く提供することができた。

(4) 課題

- 大学生の参加比率が少ないことから、今後は大学生の参加を増やす取り組みを行う必要がある。

作成者：企画指導専門職付係員 山田 翔太